

Tips : ファイル管理を使う (文字コード変換)

Copyright © EMIT Japan Corporation

概要

WebCT では多言語に対応するため、コース内のテキストファイルは文字コードを UTF-8 に統一しています。そのため、コースで利用するコースコンテンツのうちテキストファイルはすべて UTF-8 の文字コードにしなければ文字化けをしてしまいます。この Tips では、WebCT の機能を利用して違う文字コードで作成したコンテンツを UTF-8 に変換する方法を説明します。

この Tips は以下の内容を含んでいます。

- 1つのファイルを文字コード変換する
- 複数のファイルを文字コード変換する
- 文字コードを元の状態に戻す
- 注意事項

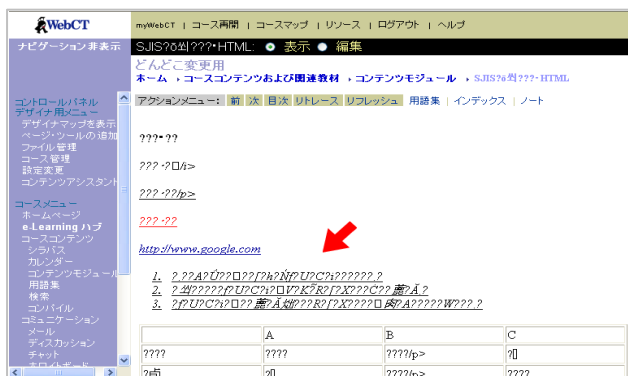


図 1: 文字コードが Shift-JIS のものを WebCT で表示させた例

1つのファイルを文字コード変換する

文字化けをしているファイルが 1 つだけの場合、もしくは文字化けしている複数のファイルの元の文字コードがそれぞれ異なる場合はこちらの方法を実施します。

準備

- 実際に文字化けに直面している場合...
ファイル管理画面を表示して、文字化けをしている可能性のあるファイルをクリックして表示させ、文字化けをしているファイルを特定します。
- この機能を試してみたい場合...
ファイル管理画面であらかじめ UTF-8 以外の文字コードのファイル¹を WebCT にアップロード²しておきます。

手順

- ファイル管理画面を表示します。
- 「フォルダおよびファイル」の下で、文字化けを起こしているファイル名の前にあるチェックボックスにチェックを入れます。
- 「ファイルオプション」の下で、ドロップダウンリストから「キャラクタセットの変換」を選択し、Go をクリックします。
- キャラクタセットの変換画面が表示されます。(図 2 参照)
- ドロップダウンリストから文字化けをしているファイルの元の文字コードを指定してプレビューをクリックします。元のファイルの文字コードがわからない場合は、文字コードを選択してプレビューをクリックという作業を繰り返してください。正しく表示された時の文字コードが元のファイルの文字コードです。日本語の場合、大抵「日本語 (EUC-JP)」か「日本語 (Shift-JIS)」です。
- 最後に変換をクリックします。
- 再びファイル管理画面が表示されます。
- 「フォルダおよびファイル」の下で文字化けを起こしていたファイルをクリックして、文字化けが修正されていることを確認します。

¹ 通常、日本語のコンピュータの環境で作成したファイルは文字コード Shift-JIS や EUC になっていることが多いです。

² 詳しくは別 Tips: 「コンテンツを WebCT にアップロードする」をご覧ください。



図 2 : キャラクタセットの変換前のファイル

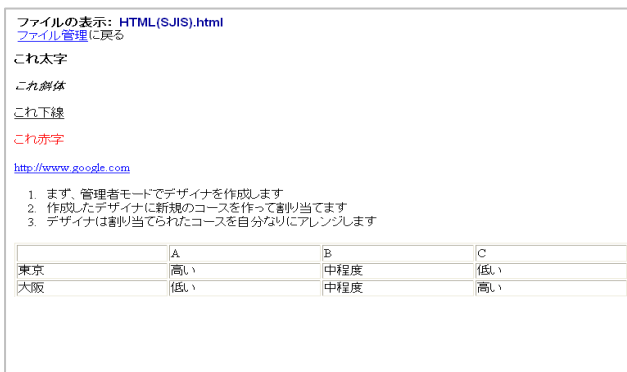


図 3 : キャラクタセットの変換後のファイル

複数のファイルを文字コード変換する

複数のファイルがあり、すべてのファイルの元の文字コードが同じであるという確証があれば³、こちらの方法で行うと一括変換が行うことができ便利です。

注意：不可逆な変換なので、間違った文字コードを指定すると二度と戻すことはできません。

手順

1. **ファイル管理**画面を表示します。
2. 「フォルダおよびファイル」の下で、キャラクターセットを変換したいすべてのファイル名の前にあるチェックボックスにチェックを入れます。
3. 「ファイルオプション」の下で、ドロップダウンリストから「キャラクターセットの変換」を選択し、Go をクリックします。
4. **複数ファイルのキャラクターセットの変換**画面が表示

³ 詳しくは文末の「注意事項」を参照してください。

されます。(図4参照)

5. 左横に表示されているファイルの元の文字コードをドロップダウンリストから選択して、**変換**をクリックします。
6. すると**変換結果**画面が表示されます。画面上部にある「**ファイル管理に戻る**」をクリックします。
7. 再び**ファイル管理**画面が表示されます。「フォルダおよびファイル」の下で変換を行ったファイルをクリックして、正しく文字コードが変換されているかを確認します。

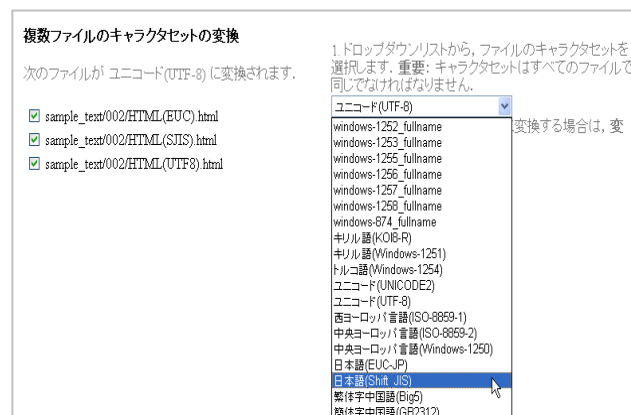


図 4 : 複数ファイルのキャラクターセットの変換画面

文字コードを元の状態に戻す

文字コードをUTF-8に変換したファイルを元のファイルの文字コードに戻すことができます。ただし、最初の変換時に元のファイルの文字コードの指定を間違えて変換してしまった場合は、この機能を利用できません。

手順

1. **ファイル管理**画面を表示します。
2. 「フォルダおよびファイル」の下で、文字コードを元の状態に戻したいファイルの前方にあるチェックボックスにチェックを入れます。
3. 「ファイルオプション」の下で、ドロップダウンリストから「キャラクターセットの変換」を選択し、Go をクリックします。
4. **キャラクターセットの逆変換**画面が表示されます。**逆変換**をクリックします。
5. 再び**ファイル管理**画面が表示されます。操作したファイルをクリックすると、ファイルは元の文字コードになっているので文字化けします。確認してください

注意事項

- 複数のファイルを一括に文字コードを変換する時には注意が必要です。元のファイルのうち文字コードが違ったものが含まれていると、そのファイルを二度と正しく表示させることはできません。文字コードを変換するファイルの元の文字コードが不明な時は、1 つずつ変換する手順で文字コードを確認しながら変換を行うことをお勧めします。

このTips は以下の環境で確認しました。

サーバ : WebCT3.8 日本語版 / RedhatLinux 7.3

クライアントOS : WindowsXP

クライアントブラウザ : IE6.0SP1

(2003年11月07日 瀧 美渚子作成)